

当面の病床機能転換等の一覧(新宮保健医療圏)

医療機関名	転換等の内容		転換の時期
一般財団法人 新宮病院	転換	療養病床 療養病棟入院基本料1を一般病床 障害者施設等入院基本料(10:1)に転換 ＜転換後の機能別病床数＞ 慢性期84床	令和3年10月
くしもと町立病院	転換 廃止	療養病床のうち、10床を介護医療院に転換し、6床を廃止 ＜転換後の機能別病床数＞ 急性期90床 慢性期24床	令和4年4月以降

議題1 新宮保健医療圏構想区域における当面の病床機能転換等の予定について

新宮保健医療圏の医療機関における当面の病床機能転換等の予定は上記のとおりです。(一部転換済み)
各医療機関とも、新宮保健医療圏における地域医療構想の方向性と概ね合致しているものと考えられます。

上記案件について採決を実施しますので、別紙(書面決議書)にご記入のうえご提出ください。
(令和3年12月8日(水)✕切)

病床機能の転換等について〔新宮保健医療圏構想区域 協議の場〕

医療機関名 一般財団法人 新宮病院

現在の病床機能【概要】 <令和 3年 9月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
慢性期	1	障害者施設等入院基本料（10：1）	55	
慢性期	1	療養病棟入院基本料 1	29	
計	2		84	
（備考）				



転換の予定 <令和 3年10月以降>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	増減
慢性期	2	障害者施設等入院基本料（10：1）	84	+29
慢性期	0	療養病棟入院基本料 1	0	-29
計	2		84	
（備考）				

現在の病床機能【詳細】
<p>《病床転換の理由》</p> <p>現在、当院は、一般病床において、新宮市立医療センターを筆頭に近隣の急性期病院から在宅復帰や介護施設への入所が困難な医療度の高い亜急性期の患者様を継続して積極的に受け入れる為に、現在の療養病床を一般病床（障害者施設等入院基本料）に転換する事が急性期医療を担う近隣医療機関の医療機能を補完できると考えております。</p>
<p>《病院の状況》</p> <p>診療科目： 内科・リハビリテーション科</p> <p>一般病床： 障害者施設等入院基本料（10：1） 病床稼働率 = 直近1年間 99%</p> <p>療養病床： 療養病棟入院基本料 1 病床稼働率 = 直近1年間 97%</p>
<p><その他></p>



転換後における病院のあり方
<p>《地域医療において担う役割》</p> <p>今後も継続して在宅復帰や介護施設への入所が困難な医療度の高い亜急性期の患者様を積極的に受け入れ、急性期医療を担う近隣医療機関の医療機能を補完すると併せて、リハビリスタッフを現在の理学療法士4名・作業療法士2名の体制から来春、理学療法士1名（採用決定）を増員し、入院患者様の在宅等への復帰支援にも力を入れていきたいと考えております。</p>
<p><地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み</p>
<p><その他></p>

病床機能の転換等について〔新宮保健医療圏構想区域 協議の場〕

医療機関名 くしもと町立病院

現在の病床機能【概要】 <令和3年10月現在>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
急性期	2	急性期一般入院料 4	90	
慢性期	1	療養病棟入院料 2	40	
計	3	—	130	
(備考) 急性期 90床のうち20床は回復期病床				



転換の予定 <令和4年4月以降>				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	増減
急性期	2	急性期一般入院料 4	90	床
慢性期	1	療養病棟入院料 2	24	-16床
計	3	—	114	-16床
(備考) 減少する16床の内10床を介護医療院に転換、6床は廃床				

現在の病床機能【詳細】
<p>【現状と転換理由】</p> <p>当院ではこれまで、急性期病棟・90床(うち回復期・20床)、慢性期病棟・40床により運営してきましたが、住民ニーズの高まりを受け、令和3年度より療養病床を短期入所療養介護(医療型ショートステイ)のみなし指定を受け、4床の運用で、患者を受け入れている状況です。</p> <p>(短期入所療養介護は、自宅で療養生活をしている要介護者が、一時的に施設に入所し、看護や医学的管理のもとに介護、機能訓練、そのほか必要な医療などを受けるサービスです。)</p> <p>しかしながら、高齢夫婦のみの世帯や独居高齢者世帯が多い串本町において、更に高齢化が進む中、近い将来これらの方が自立した生活を送ることができなくなった場合の態勢整備が急務となっており、公立病院として、地域医療構想に即した形で、医療と介護の連携事業に取り組む必要があると考え今回の介護医療院への転換に至りました。</p>
<p>【病院の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般病床(急性期一般入院料4)：90床(うち地域包括ケア病床：20床) <ul style="list-style-type: none"> ・病床稼働率(R2.10.1～R3.9.30) 73.5% ・一日平均入院患者数 63人 ○ 療養病床(療養病棟入院料2) 40床(短期入所療養介護：4床) <ul style="list-style-type: none"> ・病床稼働率(R2.10.1～R3.9.30) 54.6% ・一日平均入院患者数 22人
<p>【その他】</p>



転換後における病院のあり方
<p>【公立病院としての責務】</p> <p>療養病床を一部介護医療院に転換することにより、長期的な医療と介護の両方を必要とする高齢者を対象に、「日常的な医学管理」、「看取り、ターミナルケア」等の医療機能と「生活機能」としての機能を提供することが可能となります。そのため、更なる高齢化が予測される中、地域住民のニーズに応えることができると考えています。</p> <p>くしもと町立病院では、公立病院の責務として地域の医療と介護の切れ目のないサービス提供を目指した取り組みを進めたいと考えています。</p>
<p>【施設基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護医療院 1を目指しています。
<p>【地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等】</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み</p>
<p>【その他】</p>